

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
14	下田 良秀（5）	<p>1. 富士市の市営住宅の現状と今後の展望について</p> <p>これまで富士市において市営住宅は市民の住宅需要を満たし、住宅セーフティネットとして役割を果たしてまいりました。現在では、新型コロナウイルス感染症の影響による解雇等により、現に居住している住居から退去を余儀なくされる見込みの方または退去された方に市営住宅を提供するなどの試みも進んでいます。</p> <p>しかしながら現在では、市営住宅は建設より長い時間が経過し、少子高齢化という社会環境の変化、空き部屋の増加や建物の経年劣化及び財政運営の逼迫化等、様々な課題が出てきております。</p> <p>そのような状況の中、市営住宅では年々入居率が低下し、高齢者のいる世帯の割合が増加している反面、若者世帯の割合は低くなっています。そこで第二次富士市住宅マスタープランでは、ファミリー世帯や若者世帯、高齢者世帯など、幅広い年代が住むミックス居住を推進するため、ニーズに対応した住宅を供給することを若者入居の誘導方策の1つとして位置づけています。このことは若者人口の増加とともに高齢者にとってもいい影響があるものと思われまます。</p> <p>また、去年より様々な効果を狙い、管理について静岡県住宅供給公社に委託をするなどの取組も行っており、本市における市営住宅が果たす役割はいまだ大きく、かつ、その運営や活用方法を含め改善の余地があるものと考えています。</p> <p>そこで以下質問いたします。</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の影響による市営住宅の利用の現状はいかがか。</p> <p>(2) 管理について静岡県住宅供給公社に委託し、1年が経過したが、そのメリットとデメリットをどう考えているか。</p> <p>(3) 市営住宅に関する計画等の策定の進捗状況はいかがか。</p> <p>(4) 新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえた上で、若者人口を確保するための市営住宅の今後の展望をどのようにお考えか。</p>	市長 及び 担当部長